諫早総合病院地域医療支援病院運営委員会・地域協議会

平成２９年度第４回会議議事録

日　時：平成３０年２月２２日（木）１４:００～
会　場：諫早総合病院　６階大会議室
書　記：総務企画課　榎並竜大

○参加者　　別添資料のとおり（院外９名・院内３名・事務局３名）

≪議　事≫

［１］紹介率・逆紹介率について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１－１０頁

１０月の初診患者数９４４人に対し、紹介患者数８８２人で紹介率は９３．４%、逆紹介患者数１，０４４人で逆紹介率は１１０．６%

１１月の初診患者数８７２人に対し、紹介患者数８０５人で紹介率は９２．３%、逆紹介患者数９５６人で逆紹介率は１０９．６%

１２月の初診患者数７８０人に対し、紹介患者数７４２人で紹介率は９５．１%、逆紹介患者数９６０人で逆紹介率は１２３．１%

（事務局）

月別による変化はほぼないが、紹介患者がやや減少傾向にあります。

診療科別にみると循環器内科、小児科、歯科口腔外科が増加しており、呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科が減少している。

（歯科医師会　原様）

歯科の紹介数が毎年５０件程度増加している。この状況が続くのであれば増員を考えていただきたい。

（諫早医師会　山口様）

若い医師の電話対応が気になるので、教育していただきたい。

［２］救急患者・外来患者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１－１５頁

救急外来患者数は１０月４３７人、１１月４６０人、１２月７４８人と１０月・１１月は減少しているが、１２月は増加している。

救急入院患者数は１０月３３２人、１１月３１０人、１２月３５２人と前年度比較で大きな変化はない。

１日平均外来患者数は１０月６００．８人、１１月６３３．７人、１２月６２９．８人。紹介患者減に伴い外来患者も減っていると考えられる。

（諫早消防署　川合様）

平成２９年の統計が出たので発表します。救急車要請件数は県央地区で５，７２１件。うち、諫早総合病院で受け入れた件数２，１６３人。内訳は軽度７９０人、中等症１，１７８人、重症１６８人、死亡２７人となっている。さらに、項目別では急患１，３１８人、転院搬送４４３人、一般負傷２３５人、交通事故１２４人、運動負傷２６人、労災２４人、自損１０名、加害２名、火災１名となっている。

救急車を呼んだ場所の内訳は、市内１，９３４件、大村市２５件、雲仙市２０３件、高速道路１件となっています。県央地区の１／３程度は諫早総合病院が受け入れている結果となりました。

（長郷院長）

ＣＰＡについては近いところであれば非輪番日でも受入れするように職員に周知している。

（長郷院長）

地域医療構想にて県央区域では心筋梗塞で死亡する割合が多いと記載されていたが本当か。

（県央保健所　松本様）

統計上、心臓病疾患は心筋梗塞の分類とされているため、そのような結果となっている。

（元諫早市教育長　平野様）

救命救急士は心肺蘇生等の行為についてどのような決まりがあるのか。

（諫早消防署　川合様）

県央地区では長崎医療センターの医師に確認し実施することとなっている。

搬送先は長崎医療センターに限らず、地域の病院に搬送している。

［３］共同利用（開放型病床利用等）について・・・・・・・・・・・・・・・１６頁

共同利用を行った医療機関の延数７、そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延数７で共同利用率１００％。対象病床数３，８５０床、利用病床数１０３床、共同利用率２．６％となっている。

放射線機器の利用率について、ＣＴの利用率は１０月８．５％、１１月７．５％、１２月８．７％。ＭＲＩの利用率は１０月１２．７％、１１月１２．７％、１２月１４．６％となっています。

［４］諫早市こども準夜診療センターについて・・・・・・・・・・・１７－１８頁

患者数は１０月２１８人（７．０３人／日）、１１月２４０人（８．００人／日）、１２月４４１人（１４．２３人／日）となり、１０月・１１月は減少しているが、１２月がインフルエンザ等の影響で増加している。

地区別受診者数は１０月諫早市内８６．７％、諫早市外１３．３％となっており、諫早市内（特に旧諫早市地域）の受診割合が高かった。

（諫早市健康福祉部　村井様）
雲仙市からも運営補助金をもらっている。雲仙市からの受診が１０％を超えているので助成金を多く出すデータとしたい。

［５］患者相談実績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９頁
患者相談実績では、１０月９５８件、１１月９８８件、１２月９９５件となっており、前年度と比較しても増加していることがわかる。
（事務局）
全体的に相談件数は増加している。特に認知症センター関係の相談が増加した。その他項目については諫早市の入退院ルールが構築され、ケアマネとの連携が強化され相談件数が増加している。
（県央保健所　松本様）
ケアマネは以前まで病院に相談するのに抵抗があったが、窓口が明確化されたため相談しやすくなり、このような結果となっている。

［６］研修会開催状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０頁
平成２９年度の研修会開催状況は、医師等の症例検討会を６部門、医師以外の研修会等を１０部門で実施した。

［７］その他
（長郷院長）
自傷行為の救急患者については長崎医療センターへ搬送してもらうようにする。
４月より脳神経外科の常勤医１名、循環器内科の常勤医１名が増員する。
また、軽症者の時間外受診が増加しているため、市民啓発のため家庭薬を常備してもらう案内等を作成中。
夜間電話対応の＃８０００の対応が整備されていないため、きちんと医師が対応できる体制を整えてもらいたい。
次回会議時、増設したＭＲＩの見学を行なっていただく。